

## 特別招待公演にあたって

セザンヌが昨年一昨年と「火を産んだ母達」13回公演(筑豊一円)にて大変お世話になりました、著者 井手川泰子先生、劇団 やしゃぶしの皆さんを遠く筑豊地方よりお招きし、明治・大正・昭和と死と共にある過酷な地の底での労働により、日本の近代産業を支えてきた男坑夫、女坑夫の姿をご紹介します。

皆様のご来場を関係者一同心より楽しみにお待ちしております。

遠藤久仁子

## 川筋に魅せられて

劇団「やしゃぶし」創立当時の筑豊は、「エネルギー革命」の名の下に切り捨てられ、疲弊のどん底から這い上がろうとしていた時期でもありました。私たちは、演劇の力で、地域の再生に少しでも役に立ちたいと、筑豊を舞台とした演劇を中心に据えた活動を始めました。

今回公演する、現代の狂言「穴」は創立4年目に出会った作品です。今日まで、50年を超え200回以上の公演を重ねてきました。坑内労働で育まれた炭鉱の生活文化を「闇の思想」と呼んだルポタージュ作家の上野英信さんの思いに近づくべくありませんが、舞台をとおし多くの人との出会いがあり、多くの学びがあり、私たちの糧でもあります。

「やしゃぶし」の芝居は暗いと言われますが、めげずにこれからも、皆さんと共に、「本当の石炭」を求めて掘り続けたいと願っています。

隅田知明

## 井手川泰子 トークセッション

「老女たちのヤマの話聞いてしまったという責任がある  
もう二度と聞けない話を聞いてしまったのだから...」

筑豊の地底深く、力の限りに働き抜いてきた  
女坑夫たちの胸の内、その叫びや思いを、時代の  
歴史・証言としてお話を伺います。

苦労を歌で笑い飛ばして開き直り、助けあって  
共に生きる炭住の暮らしとは...



## としおかたかお 映画作家 新作 晩秋クランクイン予定

「京都・点景」 コネクション・オブ・メモリー

「個」の眼差し・「個」の記憶は連鎖する。

既視感に満ちた映画という新しい記憶。

かつて映画シーンを駆け抜けた

高林陽一を彷彿する彼の後継者からのオマージュ。

監督・脚本・撮影；としおかたかお

助監督・制作技術；秋吉弘文

音楽；宮生晋歌（宮原豊）

製作；遠藤久仁子

出演；二人だけの劇場セザンヌ、他

## 【お問い合わせ＆公演会場】

二人だけの劇場 セザンヌ（会場；セザンヌアトリエ）

〒601-8017 京都市南区東九条北烏丸町 33 番地 Books ENDO 2F

Tel；075-205-1733 / 090-3865-0533

Fax；075-672-3426

cezanne1983@leto.eonet.ne.jp , cezanne1983@ybb.ne.jp

- お電話・FAX・mail にて予約をお願いいたします。  
満席の場合のみ当方よりご連絡させていただきます。（定員 30 名）
- 会場場所の検索は google map にて「二人だけの劇場セザンヌ」と検索ください。  
Books ENDO 2 階が公演会場となります。

<http://www.cezanne1983.com/>

